

地域公共交通確保維持改善事業における事業評価について

事業評価とは

地域公共交通確保維持改善事業を活用した事業について、次年度ないし将来の事業をより効果的・効率的に実施するために**事業の実施状況等を振り返り評価するもの**

◆地域公共交通確保維持改善事業（国補助）

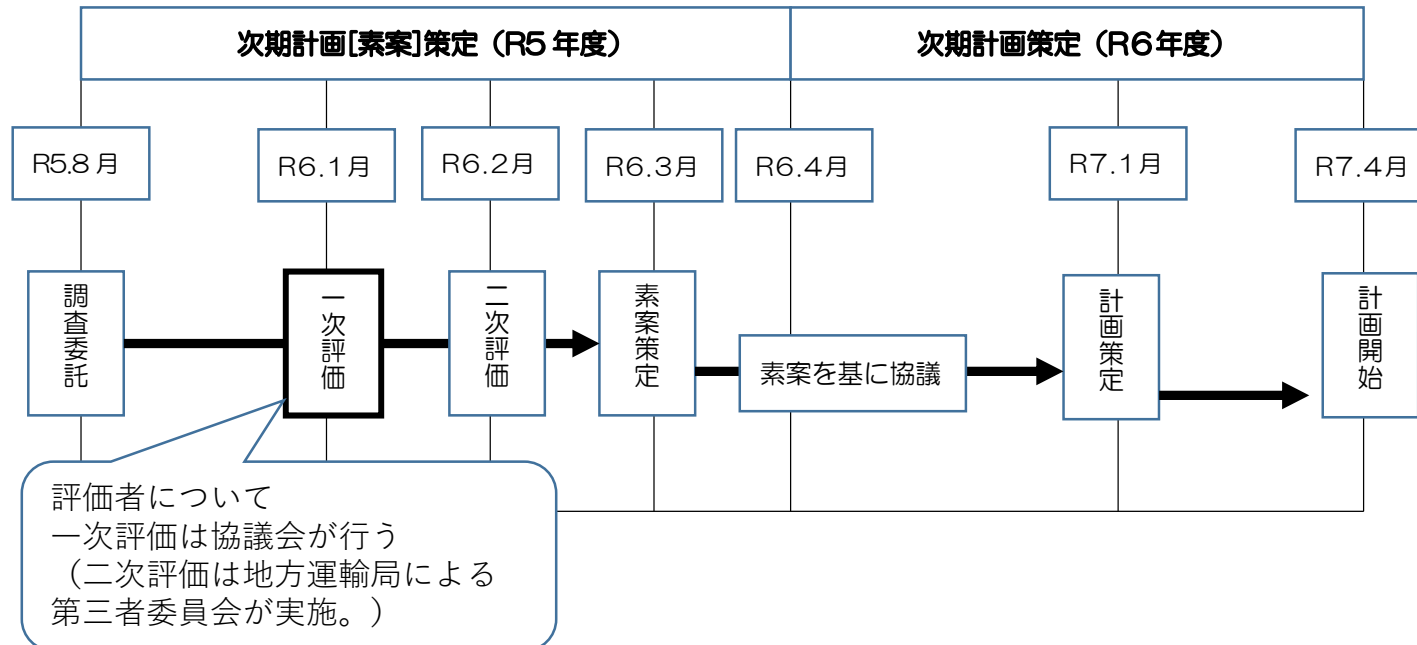
【補助対象事業名】

令和5年度佐世保市・佐々町地域公共交通計画策定調査業務

【事業内容】

次期地域公共交通計画策定に向けて、必要な情報の把握・整理を行い次期地域公共交通計画素案をとりまとめる。

【事業評価スケジュール】



※本来ならば、活性化協議会承認を経て、一次評価提出が望ましいが、下記理由により、本件については、協議会規約により**会長専決**とし、本協議会にて各委員へ報告を行うもの。

①策定しようとする計画の趣旨に沿った調査業務が遂行されていることを協議会事務局により確認済。

②活性化協議会招集のいとまがない。

3 議題(5) 地域公共交通調査事業における事業評価について

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和6年1月26日

協議会名: 佐世保市・佐々町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(地域公共交通計画策定事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画等の計画策定等に向けた方針
【事業内容】 ・交通ネットワーク体系の検討 ・交通資産の取扱いについての検討 ・交通不便地区対策の検討 ・新たな交通モードの検討 ・既存及び新たな交通モード間における連携策の検討 ・共創による異業種事業間連携の可能性についての検討 ・公共交通機関の利用促進及び需要創造策の検討 ・公共交通計画素案のとりまとめ ・計画達成状況の評価・分析方法及び改善の反映方法の検討 ・協議会・幹事会開催 【結果概要】 《調査方法》 ・交通事業者から提出された系統別の運行状況や収支等の情報を踏まえた現状分析や将来予測等を実施するとともに、交通事業者との対話を通じて今後の導入施策について検討。 ・交通ICカードデータを用いた詳細な運行状況の分析やそれを踏まえた将来需要を調査。 ・交通資産については現地情報の収集及び事業者ヒアリングを実施し、利活用の方針等について検討 ・不便地区対策や各種モード間の連携、異業種事業者との連携に関する参考事例調査及び現地調査等を実施し、導入可能性のある施策を検討 《上記調査により以下の問題点を抽出》 ○路線バスを中心としたエリア内各地域における需給バランスの改善の必要性 ○少子高齢化に伴うさらなる公共交通需要の減少 ○需要減に伴う交通不便地区増加の可能性 ○ドライバー不足の深刻化による公共交通サービス維持の困難性 ○地域公共交通を担う事業者の収支・経営状況の悪化 現状分析等により確認された問題や課題の解決に向け、計画への位置付けが必要と考える対応方針をとりまとめた。	A 佐世保市及び佐々町の地域公共交通政策のマスタープランとなる佐世保市・佐々町地域公共交通計画を策定するに当たり、エビデンスに基づく施策を検討するために必要な調査を適切に実施することができた。	【補助対象事業名】 佐世保市・佐々町地域公共交通計画策定調査業務 【事業内容】 広域的な視点により各公共交通機関の現状を分析し、公共交通ネットワーク維持のための効率的・効果的手法や利便性向上等を検討する判断基準となる調査を行う。 【実施期間】 令和7年4月～令和12年3月 【計画策定の方針】 ●佐世保市・佐々町における持続可能な交通ネットワーク体系の構築 (基幹系ネットワークの大幅な再編及び末端交通の他モードへの転換等を含む補完系ネットワークの見直し等。) ●公共交通サービス維持・充実のための利便増進事業の推進。 (エリア定額運賃やバスと鉄道の共通運賃、エリア一括協定運行等の導入可能性等の検討。)

3 議題(5) 地域公共交通調査事業における事業評価について

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)《変更案》

令和6年1月26日

協議会名: 佐世保市・佐々町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(地域公共交通計画策定事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画等の計画策定等に向けた方針
【事業内容】 ・交通ネットワーク体系の検討 ・交通資産の取扱いについての検討 ・交通不便地区対策の検討 ・新たな交通モードの検討 ・既存及び新たな交通モード間における連携策の検討 ・共創による異業種事業間連携の可能性についての検討 ・公共交通機関の利用促進及び需要創造策の検討 ・公共交通計画素案のとりまとめ ・計画達成状況の評価・分析方法及び改善の反映方法の検討 ・協議会・幹事会開催 【結果概要】 《調査方法》 ・交通事業者から提出された系統別の運行状況や収支等の情報を踏まえた現状分析や将来予測等を実施するとともに、交通事業者との対話を通じて今後の導入施策について検討。 ・交通ICカードデータを用いた詳細な運行状況の分析やそれを踏まえた将来需要を調査。 ・交通資産については現地情報の収集及び事業者ヒアリングを実施し、利活用の方針等について検討 ・不便地区対策や各種モード間の連携、異業種事業者との連携に関する参考事例調査及び現地調査等を実施し、導入可能性のある施策を検討 《上記調査により以下の問題点を抽出》 ○路線バスを中心としたエリア内各地域における需給バランスの改善の必要性 ○少子高齢化に伴うさらなる公共交通需要の減少 ○需要減に伴う交通不便地区増加の可能性 ○ドライバー不足の深刻化による公共交通サービス維持の困難性 ○地域公共交通を担う事業者の収支・経営状況の悪化 現状分析等により確認された問題や課題の解決に向け、計画への位置付けが必要と考える対応方針をとりまとめた。	A 佐世保市及び佐々町の地域公共交通政策のマスタープランとなる佐世保市・佐々町地域公共交通計画を策定するに当たり、エビデンスに基づく施策を検討するために必要な調査を適切に実施することができた。	【補助対象事業名】 佐世保市・佐々町地域公共交通計画策定調査業務 【事業内容】 広域的な視点により各公共交通機関の現状を分析し、公共交通ネットワーク維持のための効率的・効果的手法や利便性向上等を検討する判断基準となる調査を行う。 【実施期間】 令和7年4月～令和12年3月 【計画策定の方針】 ●まちづくりの軸となる利便性の高い公共交通ネットワークの形成 ●モード間の連携による公共交通ネットワーク全体の利便性の確保 ●持続可能な地域公共交通事業の実現 ●公共交通の利用促進・需要創造の推進